

## 第3回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成22年7月16日(金) 18時30分～20時30分

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

### 3 出席者

(1) 委 員 21名

\*欠席 櫻田委員、代理出席 荒井優子千城台旭小PTA副会長(葛城委員の代理)

(2) 事務局(教育委員会教育総務部企画課)

高須課長、戎谷主幹、加茂主査、山崎主査補、安井主査補

(3) 傍聴者 10名

### 4 議題

(1) 前回協議会で出された意見についての整理

(2) 学校適正配置

(3) 次回開催日時・場所

### 5 会議資料

(1) 前回協議会で出された意見についての整理

(2) 学校適正配置資料 ①その必要性

④教員の配置について

②学校規模の考え方

⑤千城台地区の学級編制の状況と教員の加配

③学級編制の基準

⑥小規模校のメリット・デメリットと適正規模化に伴う変化について

### 6 議事の概要

(1) 前回協議会で出された意見についての整理

「前回協議会で出された意見についての整理」の資料をもとに、協議題の整理や順序性について事務局より説明があり、質疑応答を行った。

(2) 学校適正配置の必要性等について

「学校適正配置」の資料①～⑥をもとに、事務局より説明があり、質疑応答を行った。

(3) 次回開催日時・場所

次回協議会は、平成22年9月17日(金)18時30分から20時30分、千城台公民館にて開催することとした。

### 7 発言要旨

(1) 会長挨拶(安部会長)

いよいよ3回目の協議会となった。第1回、第2回と話し合いを重ねてきて、そろそろ核心に入っていくと思われる。委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いしたい。

また、「千城台教育を考える会」より「第3回地元代表協議会の地元代表へのお願い」のプリント配布を依頼され、本日、委員の皆様にお配りした。この件に関して、何かご意見があれば、次回に協議をしたいと考える。

## (2) 議題

### 議題(1) 前回協議会で出された意見についての整理

事務局 会議資料(1)を説明

〈菅原議長〉

事務局より説明があった通り、今後の協議会の協議題に関わる部分である。質問・意見をいただきたい。

〈加瀬委員〉

学校規模については、教育委員会は千城台地区の学校適正配置について中学校1校、小学校2校との考えを挙げているが、必ずしも学校規模を大きくすることが良いとは思わない。特に中学校については統合せずに2校とも残し、少人数の中で、難しい思春期の時期を教員がきめ細かく対応していける体制が良いのではと思う。小学校も、5校中1～2校減らす程度で良いのではないか。

〈事務局〉

中学校1校、小学校2校については、あくまで学校規模で考えたものである。例えば、小学校を先に統合するのか、中学校を先に統合するのかなど、この協議会でいろいろな面から考えていただき、方向性を見出していきたい。

〈三浦委員〉

適正配置を進めているが、小規模も捨てたものではない。中間の規模にしたらどうか。12学級以上18学級以下が標準であると法律で示されているが、統合されると大規模になってしまうのではないか。安易に統合して大規模にならない方がよい。

〈秋葉委員〉

統合する場合においては、「18学級」を「24学級」としているが、18学級より少なくても良いのか。

〈事務局〉

あくまでも法律上で示されているものである。統合されて、それより少ない学級数になることも考えられる。多様な教育活動を展開し、豊かな人間関係を築き、社会性を身につけられるより良い教育環境にすることが大切と考える。

〈村田委員〉

実際に小規模校の教員や子どもたちに、アンケートをとるなど、現状での感想を聞いてみたいがいかがか。

〈事務局〉

教育委員会としては、各学校の校長先生方をお願いしてみることはできるが、今日お集まりの各学校のPTA代表の方々に率直な意見を聞いてみてはいかがか。

〈菅原議長〉

各学校のPTA代表から、現在、保護者の感想や意見など、何か把握していることがあればお願いしたい。

〈土屋委員〉

西中学校は、特別支援学級もあり、比較的教員数も多い。PTA役員の意見としては、中学校は現状の2校のままでも良いという意見が大半である。統合した方が教員の数が増えて良いという意見も1名あった。また、統合した後の跡施設がどうなるのか不安であるという意見もあった。



会の中で話し合っていたきたい。

〈加瀬委員〉

統合を進める背景を考えると、県や市が人員削減、経費削減を進めていることも1つの要因であると思われる。そこで、千城台地区をどうしたらよいかに関わってくるが、上手に和を作っていくしかないと考える。国は教育にもっと金を出しても良いと思う。小規模の良さもある。統合におけるメリット・デメリットをよく検討し、考えていくことが大切である。

〈事務局〉

ここまでの議論と関連があるので、ここで次の議題である「学校適正配置の必要性等について」説明させていただきたい。

## **議題（2）学校適正配置の必要性等について**

事務局 会議資料（2）を説明

〈菅原議長〉

「適正配置の必要性等」について、質問、意見があればお願いしたい。

〈秋葉委員〉

資料「千城台地区の学級編制の状況と教員の加配」に載っているが、28年度の児童・生徒数の推計について伺いたい。県営・市営住宅の入居基準が変われば、児童数は増えるのか。

〈事務局〉

28年度の児童・生徒数については、住民基本台帳を基に入学率等いろいろな要因を加味して算出している。今年生まれた子どもが6年後の28年度に小学校に入ると想定し、算出したものである。中学校についても同様である。

〈秋葉委員〉

小学校においては、千城台地区の小学校5校中4校が小規模校となっている。適正規模なのは東小だけである。

〈佐々木委員〉

1つの提案であるが、千城台地区では小学校を1校に統合、スクールバスを出すということはどうだろうか。大胆な発想も必要である。

〈石原委員〉

中学校も含めて、小中一貫教育校にするということもできる。

〈安部会長〉

千葉市の中では、若葉区が一番人口が減少している現状である。ここ10年間をみると、一番人口が減っており、高齢化が進んでいる。工場や会社等が少なく、地域の開発も見込まれない状況の中、人口が減少していると考えられる。これが、今話し合っている問題の背景であろう。

〈加瀬委員〉

先ほど話題にあがった千城台地区の小学校を1校に統合することについて、教育委員会の考えはいかがか。

〈事務局〉

この地元代表協議会において、いろいろな観点から話し合わせ、仮に小学校を1校に統合することが最善であるという結果に至り、合意形成されるのであれば、その内容を尊重する。

〈加瀬委員〉

モノレールから1 km以内にも家を建てられるようになったことで少しずつ人口も増えていくと思われる。地域の活性化等も含めて、子どもたちが増えていく方向性を探ることが大切である。

〈佐々木委員〉

統合後の跡地に、例えばコミュニティセンターのようなものを作っても、子どもは増えない。売却して住宅開発することも必要だろう。

〈加瀬委員〉

一戸建てでは、人は増えない。

〈秋葉委員〉

小学校と小学校の中間に統合校を設置した例もあると聞いている。真砂地区、高浜地区の統合の状況を教えていただきたい。

〈事務局〉

真砂一小と真砂四小の中間に真砂二中有る。真砂二中は真砂一中と統合され、真砂一中の位置に24年に移るので、二中を小学校に改修するように地元代表協議会で決定され、現在準備が進められている。しかし、このように決定するまでには、十分な協議の期間があった。最初の1年間は小規模の良さや適正規模にした時に何が良くなるのかなど、適正配置の必要性について納得がいくまで話し合いがあった。ぜひ千城台地区でも、いろいろな面から十分話し合っただき、知識や情報を共有し、理解を深める中で、方向性を見出していきたいと考える。疑問点やわからないことなどを遠慮なく出し合いながら、進めていただきたい。

〈土屋委員〉

小学校2校、中学校1校の考え方をもう一度確認したい。

〈事務局〉

適正配置実施方針において、学校規模、すなわち学級数からすると千城台地区の小・中学校については小学校2校、中学校1校にするように示している。しかし、これは規模から見た場合であり通学距離や安全面なども考慮し、いろいろな状況を考えて中で、最終的に統合する方向性を見出し決めていただきたい。小学校を先に統合するのか、中学校が先なのか等も含めて協議いただきたい。

〈小池副会長〉

この地元代表協議会で話し合われたことが土台となっていく。先ほどのPTA代表の意見の中でも、小規模校のメリットが挙げられている。また、文部科学省の中央教育審議会の答申に、35人学級（低学年は30人）の提案もされた。一方、小規模校のデメリットとしては、クラス替えができないことが大きい。このように考えると、学級の人数はある程度の人数に抑え、学級数は複数になる適正規模が良い。このようにメリット・デメリットを検証する中で、統合の方向性も見えてくると考える。

〈秋葉委員〉

学校規模から考えて、千城台地区のどの小学校も、最大36学級（6学年×6クラス）が入る教室があるのか。

〈事務局〉

36学級では大規模になってしまう。適正配置の考え方としては、12～24学級が適正規模である。かつてはどの学校も、多くの児童数を受け入れてきたことから、ある程度（25学級前後の）学級数は保有している。実際には、特別支援学級や特別教室などの施設・設備面等いろいろな側面

から考えていかなければならない。

〈石原委員〉

統合の考え方として、千城台地区の小学校を1つにすることはできるのか、再度お聞きしたい。

〈事務局〉

児童の推計や統合のシミュレーションを踏まえて、12～24学級の適正規模を目安に、どの程度の学校規模になるのかを見据えながら、この地元代表協議会の中で協議し、1つの統合校になることが望ましいという合意形成になれば、その方向で進むこともある。

〈佐々木委員〉

通学距離等は大丈夫か。

〈事務局〉

小学校は概ね4km以内とされている。通学距離に関しては、千城台地区全体としても概ね4km以内であるが、安全面等も含めて考える必要がある。

〈石原委員〉

統合校としての新設校を作ってくれるのか。

〈事務局〉

適正配置の実施方針にもあるが、新しく学校を作ることはせずに、今ある学校を新設校と同程度の改修をしながら、統合新設校として使用していく方向で進めている。

〈山崎委員〉

いろいろ話し合ってきているが、もう一度原点に立ち返って、適正配置を行うのか行わないのかを決めることが第一ではないか。行う方向なのであれば、期日をきちっと決めて進めていきたいと考える。

〈安部会長〉

適正配置を行う方向で、この地元代表協議会が進められている。この協議会の場が土俵である。ここで話し合われたことが基本となり、進んでいく。話し合われたことは、ぜひ周りの関係者に周知していただきたい。

〈秋葉委員〉

最終的に多数決で決定されるのか、全員の合意で決まるのか伺いたい。

〈事務局〉

協議会によって合意のとり方は様々であったが、共通しているのは、十分話し合っていた中で、お互いの確認のもとに合意されれば、決定となるということである。納得するまで協議していく中で、方向性を決めていただきたい。先ほど、適正配置が必要か必要でないかという意見もあった。必要であると考えの方も必要でないと考えの方も、ご自分の考えを素直に出しているいろいろ話し合っていたいただきたい。PTA代表の方々にも、ぜひ生の声をお聞かせ願いたい。

〈山崎委員〉

生の声を聞くということであれば、これからの統合に大きく関わる低学年や小さいお子様（幼稚園や保育所）の保護者の方々に聞くことが良いのでないか。

〈事務局〉

現在の小学校や中学校の実態を良くわかっている今の保護者の意見が大切である。未就学児の保護者の方々は学校の現状についてわからない。今の状況を出して話し合っていたくことで、出席されている地元の代表の方々にも理解される。千城台地区のより良い教育環境をいかにすべきかの

視点で話し合っただけだ。

〈山崎委員〉

現在、南中の会長をやっているが、来年度は自分の子どもが卒業し交代することになる。これからの統合に関わる保護者の意見を大切に吸い上げていきたい。

〈菅原議長〉

P T Aで次回の代表協議会までにアンケートをとってみてはいかがか。

〈石原委員〉

アンケートはとても難しい。質問内容をよく吟味してから、とった方が良く考える。

〈事務局〉

理解がまだ深まっていない現時点で、アンケートをとるのは早いだろう。この場が協議の場であり、もう少し話し合いを進めていく中で、協議会としての方向性を見出した時に、保護者にアンケートをとってみることもあるかと考える。

〈佐々木委員〉

ホームページで議事録が載るが、それを見て確認してから、保護者に協議会の状況を話している。

〈土屋委員〉

保護者の方々に説明する時には、ある程度こちらの主観も入ってしまうことを了承してもらう中で、協議会の内容を伝えている。

〈鶴岡委員〉

第3回の協議会となり、いろいろな意見が出された。統合に向けて進む方向性を確認できたと思われる。小規模校のメリットとデメリットを踏まえて、現実の状況を見ていかなければ進まない。資料⑥の「花島小学校の実際」にもあるように、小規模校の教員は出張等、大変忙しい。ある程度の規模になると、余裕も出てくる。元教員の立場から、12～24学級の適正規模になることが望ましいと考える。

〈秋葉委員〉

先日の運動会では、旭小と南小が同じ日に行っていた。より小規模である南小がずいぶん早く終わっていたが、南小の実態はどうなのか。遠足などはどうしているのか。

〈岩澤委員〉

遠足は2学年合同のバス1台で行っている。運動会では、2学年合同で競技し、親子競技や団体競技、全体種目等を入れても、午後2時には終わってしまう。

〈小池副会長〉

南小、旭小、東小が同じ日に運動会を行っていた。終了時刻も、南小、旭小、東小の順に終わっていた。小規模校は、1つの学年で1つの競技ができない。1・2年、3・4年、5・6年と近接学年で行っているのが現状である。運動会は、にぎやかな方が良く個人的には思った。適切な学校規模の中で豊かな人間性も養われていく。

〈菅原議長〉

いろいろ話し合われてきたが、そろそろ時間となった。統合のシミュレーションについては、次回の地元代表協議会で事務局より出していただきたい。

〈佐々木委員〉

次回までに、各学校の保護者に何か聞いてきて欲しいことがあればお聞きしたい。

〈安部会長〉

今日の資料の⑤千城台地区の学級編制の状況を参考に、各学校の保護者に実際の数値を教えてください。ただければと考える。

〈石原委員〉

具体的に吸い上げることはまだないので、もう少し話し合いが進んでいく中で、保護者に意見を聞く題材ができたら行っていくスタイルでよいのではないかと思います。いろいろな意見を出していく中で、1つずつ課題を解決していかないと前に進まない。

〈高野委員〉

「適正配置をする必要があるか必要がないかについて」は聞いて良いと考えるが、いかがか。

〈小池副会長〉

今回は、各学校における、現在や28年度推計の児童・生徒数を報告すれば良いと思う。

〈高野委員〉

教育委員会では、この地元代表協議会におけるタイムスケジュールはないのか。

〈事務局〉

教育委員会として、この協議会で十分話し合っていたきたいと考えており、まずは2年を目途に協議していただきたいと考えている。

### **議題（3）次回開催日時・場所について**

〈菅原議長〉

次の議題「次回開催日時・場所」に入りたい。

〈事務局〉

本日、次回の開催日時を決定し、各組織に連絡をしていただきたい。おおむね2ヶ月に1度のペースで開催する旨、了承を得ているので、今回は9月となる。本日と同様の金曜日となると、9月17日（金）18時30分から、場所はここ「千城台公民館」でいかがか。

\*「異議なし」（了承）

### **（3）会長挨拶（安部会長）**

本日は長時間にわたり、率直な意見を出し合っていたいただき、大変有意義な協議会となった。

### **（4）連絡**

○次回の開催日は、9月17日（金）18：30～、会場はここ「千城台公民館」にて開催する。

○今回は、統合におけるシミュレーションの資料を用意する。

○今回「千城台教育を考える会」から資料の提供があった。もし、何かご意見があれば、次回に協議を行いたい。

○本日の議事要旨については、案を作成し、委員の方々に確認していただく。期日までに速やかに回答をお願いしたい。回答がない場合は、修正なしとさせていただきます。委員の確認終了後、修正した議事要旨を教育委員会のホームページ上で公開するがよろしいか。

\*「よろしい。」（了承）

○委員の方々には、次回の開催日時・今日の協議内容等について、各組織の方々にもお知らせいただきたい。（次回も傍聴できる。）開催通知は、委員の方々には前もって送付する。欠席の場合は早めに事務局まで連絡をお願いしたい。なお、今回のように代理出席もよいので、ご検討願いたい。次回からの開催日時等について各学校の保護者への周知はホームページ上で行う。